

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）  
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014 年 08 月 18 日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

理 事 長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署） 平本 淳

1. プログラム名称			
慈恵医大 病院総合医養成 プログラム			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者氏名	平本 淳	学会会員番号	
所属・役職	総合診療部 准教授		
所在地・連絡先	住所 〒201-8601 東京都狛江市和泉本町 4-11-1 東京慈恵会医科大学附属第三病院 総合診療部 電話 03-3480-1151 FAX 03-3480-6688		
連絡担当者氏名*・役職	山田 高広 総合診療部 助教		*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載
連絡先	電話 同上 FAX 同上 E-mail yamtya@jikei.ac.jp		
3. 最近1年間のプログラムの概要			
・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください			
<p>緊急手術・手技を必要としない入院治療が必要な方を対象に頻度の多い疾患から稀な疾患まで幅広く多彩な疾患の患者さんを診ることによりホスピタリスト・ジェネラリストとなる医師を養成するプログラムです。疾患ありきではなく、患者さん個々人の症候、症状に対して適切な問診・診察法、EBMの活用によりの確な問題点の抽出および過不足ない適切な各検査のオーダー、正しい解釈を学びます。</p> <p>受け持ち患者 6~8名程度を受け持ち、年間120症例程度の主治医となります。</p> <p>教育回診時やカンファレンス時に担当症例のみならず他のチームの症例のディスカッションに積極的に参加することでディスカッション自体が罹患者の回復のために寄与することを学習、実践していけるようになります。</p> <p>疾患の領域としては感染症、膠原病、膠原病類縁疾患、腫瘍が多く、それらを包括的にマネージメントが出来るようになるプログラムです。</p> <p>また、院内横断チームの各活動を含め、栄養学、感染症学、緩和ケア領域の専門的知識を身に着け、実践できるようになります。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

<b>4. 過去2年間の実績</b>								
2012	年度	新規研修開始者数	0名					
		研修修了者数	0名					
2013	年度	新規研修開始者数	0名					
		研修修了者数	0名					
<b>5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）</b>								
1年目	0名	2年目	0名	3年目	0名	4年目	0名	
<b>6. プログラムにおける指導医</b> 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載								
氏名		卒業年	専門分野・資格			専門分野・資格		
山田 高広		H14	内科学会総合内科専門医			総合診療、感染症、膠原病		
吉川 哲矢		H12	家庭医専門医			家庭医療		
<b>7. 施設・診療科診療実績概要</b>								
病床数		581床（内総合診療部門定床 18 床）						
総合診療部門外来患者実績		初診	約 180 人/月	再診	約 1260 人/月			
総合診療部門入院患者実績		平均	約 18 人/月					

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者 1人平均経験症例		
急性期一般病床入院	約 120	症例
集中治療室 (ICU)・HCU 入院症例	約 5	症例
外来継続診療症例	約 20	症例
看取り症例	約 15	症例
委員会活動実践事例	約 3	症例
教育実践事例	約 10	症例
研究実践事例	約 3	症例
9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	
	約 5 %	うっ血性心不全
呼吸器系	約 症例	
	約 15 %	肺炎、間質性肺炎、肺がん
消化器系	約 症例	
	約 15 %	急性・慢性肝炎、肝細胞癌、胆管炎
代謝内分泌・血管系	約 症例	
	約 10 %	糖尿病、甲状腺機能異常、電解質異常
神経系	約 症例	
	約 5 %	脳梗塞、筋炎
腎泌尿器科系	約 症例	
	約 15 %	尿路感染症、急性腎障害
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	
	約 15 %	関節リウマチ、血管炎症候群
皮膚	約 症例	
	約 3 %	薬疹、伝染性発疹症
耳鼻咽喉科	約 症例	
	約 2 %	内耳性めまい、副鼻腔炎
その他	約 症例	
	約 15 %	敗血症、がん性疼痛

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

**10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）**

形成的評価の場として、週1回の回診・症例カンファレンス、月1回の振り返りカンファレンス、および3ヶ月に1回のSEAを行い、チェックリストやポートフォリオを用いた評価とフィードバックを行う。総括的評価は日本内科学会認定内科医の取得に加え、指導医・同僚医師・コメディカルスタッフによる360度評価、研修発表会、学会発表や論文投稿をもとに行い、内科レジデント委員会により修了認定を行う。

**11. プログラムの質の向上・維持の方法**

本プログラムの運営・研修の進行状況などについては、各分院内科診療部会議やレジデント委員会に適宜報告するとともに、関連学会や外部施設からの評価も適宜受けることで、質の評価ならびに運営上の助言を得る。履修するレジデント本人、また各科指導医やコメディカルスタッフからもプログラムに関する評価を受け入れ、プログラムの質向上をはかる。

各指導医は日本プライマリ・ケア連合学会を始めとする学術・教育団体の指導医講習会、学術集会などに積極的に参加し、指導医としての資質向上に務める。

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください